

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



聖火リレー市内コース設定とGAP認証取得による食材提供を

小野高一議員(政和会)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

質問 ①オリンピックレガシーの創出はどのように取り組むか。
②市内を走る聖火リレーコースを設定を要請する考えはあるか。
③市内農家が大会へ食材提供するためGAP認証取得を支援する施策について考えは。
市長 ①オリンピック・パラリンピック教育の授業で学習、体験したことを実践し、共生社会の実現に向けた担い手となるよう、来訪者のおもてなしや障害者理解の促進を図れる継続的な取り組みを行っていく。
②1964年の東京大会では、市内の府中街道、青梅街道、小金井街道が聖火リレーのコースとなつたことから、東京2020大会でも小平市がコースに設定されるよう、東京都に要請していく。
③GAPの認証を受けることにより、生産工程の明確化など、自らの取り組みをPRし、経営コストの削減や消費者の信頼確保など、さまざまな効果が期待できるものと考えている。また、市内農家にとって、東京2020大会への食材調達が可能になるだけでなく、農業経営の基盤強化にもつながるものと考え、JAA東京むさしなども連携し、東京都の動向を注視しながら支援について研究していく。



学園駅前公園の有効活用/5歳児健診/壁打ちの要望を問う

中江みわ議員(フォーラム小平)

一橋学園駅周辺地域の声にどう応えるか

質問 学園駅前公園はタクシーがとめられない、池はいろいろな地域要望を聞く。公園の有効活用についての方針は。
市長 学園駅前公園は都市計画公園であり、他の用途転用については、可能性の可否を含めて十分な検討が必要と考える。
5歳児健診を実施すべき
質問 ①今年度は8園の保育園を増設したが、巡回相談員の質と量は十分確保できているか。
②5歳児の人数と導入予算は。
③発達支援施設として5歳児健診実施をすべきだが見解は。
市長 ①臨床発達心理士等の増員を行うことを予定している。
②1千7百13人で約7百万円。
③5歳児健診時の問診や診察だけでは、日ごろの様子等の把握が難しいことや、専門医の確保が課題で、導入は困難である。
上水公園テニスコートEコート北側スペース有効活用について
質問 市内には壁打ちがない。テニスコート利用者からの休憩スペースを壁打ちにしてほしいという要望に対して見解は。
市長 壁打ちの整備をする考えはない。



フードロスチャレンジプロジェクト/子ども総合支援条例制定

津本裕子議員(市議会公明党)

フードロスチャレンジプロジェクトを実施しよう

質問 ①家庭への啓発や飲食店との連携でフードロスチャレンジを実施すべきだが見解は。
②京都市のように条例化により食品ロスの削減目標値を明確化し実施すべきだが見解は。
市長 ①食品ロス削減は重要と認識しており、市民や事業者に家庭や宴会等での食品ロス削減をPRし、啓発に努めている。
②生ごみ減量を一般廃棄物処理基本計画の重点施策の1つとし、24年度実績から34年度までに市民1人1日当たりの処理ごみ量原単位を約20%削減、未利用食品は半減を目標としている。
質問 ①小・中学校教育の場での体罰防止の取り組みと課題は。
②子ども総合支援条例を制定し、子どもたちを支える施策を実施すべきだが見解は。
教育長 ①教員等にアンガーマネジメント研修の実施等している。課題は体罰への正しい認識づけのさらなる徹底等である。
市長 ②第三次長期総合計画に基づく子ども子育て支援に関する個別計画により、多岐にわたる施策を実施しているため、現在のところ考えていない。



東京都薬用植物園近隣の交通安全対策と仮称後継者バンク創設

佐藤 徹議員(市議会公明党)

スーパーマーケット出店に伴う近隣地域の交通安全対策を問う

質問 ①東京都薬用植物園東側へのスーパーマーケット出店は開発事業だが、市の対応は。
②同店舗は交通量が多い都道144号線に面し、正面にバス停留所もあることから、交通渋滞対策が必要と考えるが市の見解は。
市長 ①周辺住民から駐車場の騒音への意見等があり、事業主と協議の上、フェンスの設置等遮音対策等を行うことを決めた。
②都が道路拡幅に向けた都市計画事業を進めており改善が見込まれる。交通状況の変化も注視しながら都等に相談していく。



家庭ごみ有料化、戸別収集と安全・安心な給食の提供について

幸田昌之議員(市議会公明党)

家庭ごみの有料化、戸別収集への移行は市民に丁寧な説明を

質問 ①家庭ごみ有料化・戸別収集への移行について市民の理解をどのように進めるか。市長みずから各地域に出向き説明する責任があると考えが見解は。
②家庭ごみ有料化・戸別収集への移行によるごみ収集事業者の負担をどのように考えるか。
市長 ①市民生活への影響が大きい取り組みのため、積極的な情報発信と市民説明会等で理解が得られるよう丁寧な対応をす。市長が地域に出向き説明することは機会を捉えて判断する。
②戸別収集で収集場所がふえるので負担は増加すると認識している。事業者と定期的に意見交換を行い、移行に向け事業者負担が少なくなるよう検討する。
子どもたちに安全・安心な給食を提供するために
質問 学校給食センター建てかえに向けての29年度の計画は。
教育長 早い時期に建てかえの前提となる用地を確定し、現在の学校給食センターの現状や課題、新たな施設の基本性能や事業手法を整理し、年度末を目途に基本的な方向性を決定する。
【掲載分以外の質問項目】
○山王通り周辺の交通安全対策とまちづくりについて



3歳児健診(視力検査)



1歳6か月児健診(歯磨き講座)



よりよい学校環境のために

小林洋子議員(フォーラム小平)

小・中学校の教師の多忙を解消し子どもと向き合う時間確保

質問 教師が子どもたちと向き合う時間を確保するためには、なるべく事務作業を減らし、授業の準備に時間がとれるようにする必要があると考える。いままで教師が負担してきた校務分掌を初め事務作業を事務員に振り分けられないか。また、その場合予算はどのくらいかかるのか。
教育長 事務職員の業務が増加することにより、事務執行に支障を来すため困難であると考え。なお、予算額は年間でおおむね6千7百万円となる。
質問 ①市内小学校で28年度2分の1成人式を実施した学校は。
②2分の1成人式は何のために行うのか。どのような式が好ましいと考えるか。
教育長 ①小学校全19校で実施した。
②児童に自分の成長を実感させ、本来の自分の可能性に気づかせることを狙いとしている。児童一人一人にとって自分の理想の未来を描きつけかけになることが望ましく、実施に当たっては児童の家庭環境に十分配慮することが重要と認識している。